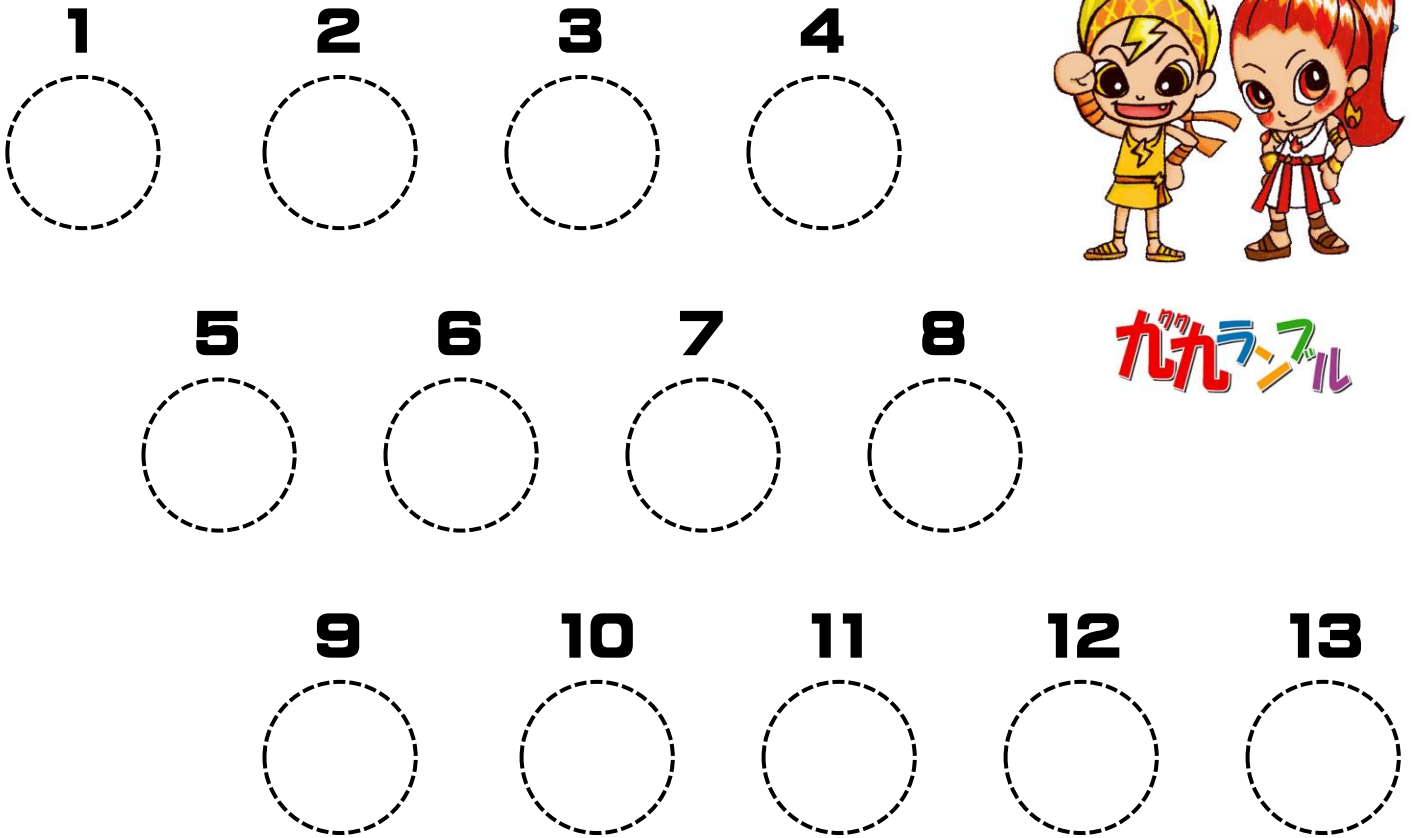


石取り いしとり



九九カラフル

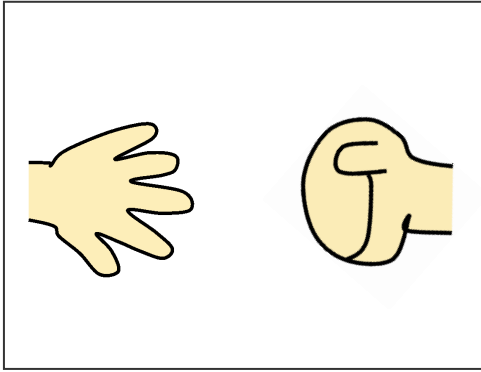


【ゲームのルール】

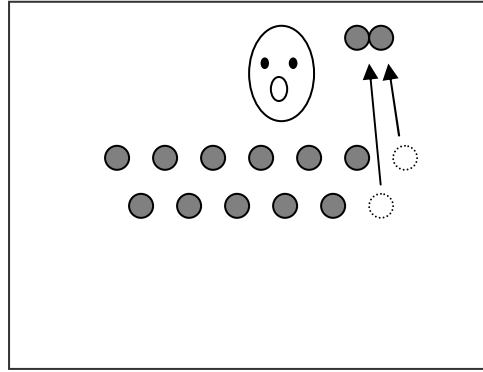
- 全ての丸○に宝石(ガラス玉)を置きます(13個置いたら準備完了です)
- 先攻、後攻を決めて、交互に宝石を取っていきます(パスはできません)
- 宝石(ガラス玉)を取る数は毎回1~2個までです
- 自分の番で終わったら勝ちです

なが ゲームの流れ

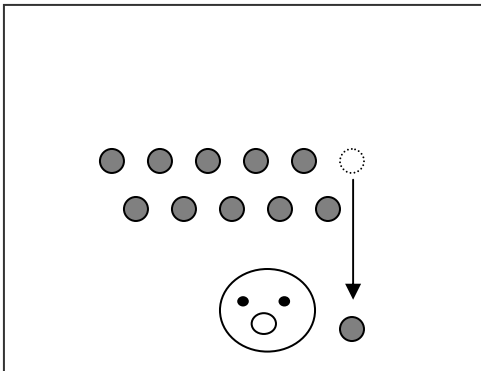
① せんこうこうこう 先攻後攻ジャンケン



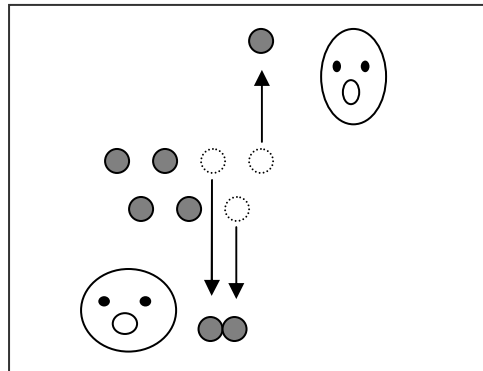
② せんこう 先攻が1~2コとる



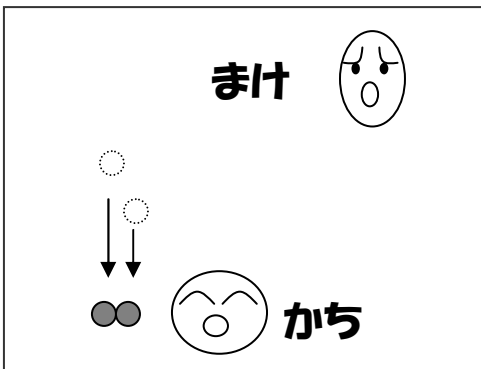
③ こうこう 後攻が1~2コとる



④ ②③をくりかえして...



⑤ じぶん ほん 自分の番でおわった方 のかち



あそ なた いろいろな遊び方

- ① スタートの石の数をかえる
(少なくするほど、簡単になります)
- ② とれる石の数をかえる
(1~3コ、1~4コなど)
- ③ 自分の番でおわった方のまけ

あそ なた が ひっしょうほう か
遊び方が変わると、必勝法も変わるよ!

「ニムゲーム」でネット検索すると、
こうしたゲームのことがよくわかります。

子どもとの遊び方

子どもをワクワクさせて、考える力を
伸ばすための効果的な方法をご紹介します！

ステップ1 ルールを覚える

- ・口で説明する * ルール全部が理解できなくても大丈夫です
↓
- ・ゲームを試してみる * ルール通りにプレイできているかを見てあげます
勝ち負けにこだわる必要はありません
子どもがルールを覚えたら、ステップ2へ進みます

ステップ2 必勝法を探す

- ・必勝法があることを伝える * 必勝法の中身は親もわからないふりをする
↓
- ・子どもと対戦を繰り返しながら必勝法を探す

大人も必勝法がわからなかったら、
それはそれでOKです。
子どもと一緒に考えればいいのです。

<大人が注意すること>

- (1) 必勝法は、絶対教えない。自分で考える習慣と忍耐力をつけさせる為です。
- (2) 子どもが自分で必勝法を見つけやすい状況を作ってあげる。
具体的には ◇ スタートの石の数を少なくする (例、5つ)
 ◇ 同じ設定で繰り返しプレイする
 (先攻後攻、スタートの石の数、大人の方の取る手を固定する など)
- (3) 「必勝法候補」を子どもが思いついたら、まず、自分で見つけたことを褒めてあげる。
- (4) 「必勝法候補」を使うと勝てるかは、実際にそれを使って対戦することで検証する。
- (5) 「必勝法候補」を子どもが全く思いつかない場合は、次の作戦で勝てるか検証する
 - ・相手の前回と同じ数を取る ・相手の前回と違う数を取る
 - ・毎回1コ取る ・毎回2コ取る
 - ・残り2コにして相手の番にする ・残り3コにして相手の番にする
 - ・残り4コにして相手の番にする

ステップ3 別の人と対戦させる

必勝法を見つけた子どもは、それを他の人に試したくて仕方ありません。

別の人（お父さん、お母さん、兄弟など）と対戦させる機会を作りましょう。

ステップ4 違う遊び方で必勝法探し(オプション)

「ゲームの流れ」にある「いろんな遊び方」でも必勝法を探してみる